

食品の安全性に関するリスクアナリシス用語

手続きマニュアルに記載されている定義

危害要因 (**Hazard**) : 健康に悪影響を及ぼす可能性がある生物学的、化学的又は物理学的な食品中の物質・要因又は食品の状態。

リスク (**Risk**) : 食品中に危害要因が存在する結果として生じる健康への悪影響の確率とその程度の関数。

リスクアナリシス (**Risk Analysis**) : リスク評価、リスク管理及びリスクコミュニケーションの3つの要素からなるプロセス。

リスク評価 (**Risk Assessment**) : (i)危害要因特定、(ii)危害要因判定、(iii)暴露評価、(iv)リスク判定、という段階からなる科学に基づいたプロセス。

危害要因特定 (**Hazard Identification**) : 特定の食品又は食品群中に存在する可能性があり、健康に悪影響を及ぼす恐れのある生物学的、化学的及び物理学的な物質・要因を特定すること。

危害要因判定 (**Hazard Characterization**) : 食品中に存在する可能性がある生物学的、化学的及び物理学的な物質・要因に起因する健康への悪影響の性質を定性的及び/又は定量的に評価 (**evaluation**) すること。化学的な物質については、用量反応評価が行われるべきである。生物学的又は物理学的な要因については、データが入手できるのであれば、用量反応評価を行うべきである。

用量反応評価 (**Dose-Response Assessment**) : 化学的、生物学的又は物理学的な物質・要因への暴露の大きさ(投与量)と健康への悪影響の程度及び/又は頻度(反応)との関係を確定すること。

暴露評価 (**Exposure Assessment**) : 食品を通じた生物学的、化学的及び物理学的な物質・要因の現実に近い摂取の定性的及び/又は定量的な評価 (**evaluation**)。同様に、食品以外に起因する暴露についても適宜評価を行う。

リスク判定 (**Risk Characterization**) : 危害要因特定、危害要因判定及び暴露評価に基づく、ある集団における既知の又は今後起こり得る健康への悪影響の発生確率と程度についての、定性的及び/又は定量的な推測。付随する不確実性も含む。

リスク管理 (**Risk Management**) : リスク評価とは別個のプロセスで、全関係者との協議を通じて、リスク評価や消費者の健康の保護及び公正な貿易の確保に関連する他の因子を検討しながら政策の選択肢を慎重に考慮するプロセス。必要であれば適切な防止及び管理の選択肢を選択する

リスクコミュニケーション (**Risk Communication**) : リスクアナリシスの全過程において、リスク、リスク関連因子やリスク認知などについて、リスク評価者、リスク管理者、消費者、産業界、学界及び他の関係者間で行われる情報及び意見の相互交換であり、リスク評価結果及びリスク管理決定の根拠の説明を含む。

その他の定義

リスク評価方針 (**Risk Assessment Policy**) : リスク評価の過程における科学的な完全性を維持するための、リスク評価における適切な意思決定ポイントにおける選択肢の選択及びその適用に関連する判断についての文書化されたガイドライン。

リスクプロファイル (**Risk Profile**) : 食品の安全性に関わる問題及びその内容の説明。

リスク推定値 (**Risk estimate**) : リスク判定の結果得られるリスクの定量的推定値。